

地域医療検討委員会を設置しました

安心できる地域医療について検討

市では、国の医療費抑制政策や新たな医師臨床研修制度による医師不足など、医療を取り巻く厳しい環境の中で、公立社総合病院および加東市東条診療所のあり方や、四万

人の市民のみなさまが安心して医療をどのよう確保し、提供するかを協議する「加東市地域医療検討委員会」を設置しました。

委員会の役割

委員会は、学識者や地域医療従事者、市民の代表者ら八人で構成され、五回程度の会議と、市民と共に考える病院フォーラムを開催し、来年の三月末までに市長に対して地域医療の確保についての提言を取りまとめます。

第一回委員会の開催

八月七日に一般公開で開催された第一回委員会では、委員長に九州大学大学院の信友浩一教授を選出するとともに、地域を取り巻く医療の現状などについて、共通の認識と理解を持つために、次の議題について協議・報告が行われました。

今後の委員会

今後の委員会では、地域医療の確保や医療機関相互の連携に

【一】地域医療の確保
市民のみなさまが安心してできる地域医療の確保について、次の観点から協議を行います。
市の医療機関が担う医療
民間医療機関が担う医療
近隣病院などとの機能分担・連携により確保する医療

【二】加東市東条診療所
市が行わなければならない事業であるか、また、市が直接実施しなければならぬ事業であるかを基本に、運営形態など方向性を協議します。

【三】公立社総合病院
経営健全化を前提に、公立社総合病院の将来のあり方について協議を行います。
できる限り地域の医療需要に

【第一回地域医療検討委員会】
日時 九月三日(月)
一四時〇〇分～一六時〇〇分
場所 公立社総合病院 会議室
傍聴定員
会場の都合により、傍聴は先着二十名までとさせていただきます。受付は、会議開始一五分から行います。



全委員を代表して市長から藤原利美委員に委嘱状が交付されました。

問い合わせ
企画部企画政策課(社庁舎)
☎ 43・0389



多くの市民の方々が傍聴される中で、第1回の委員会が開催されました。